

敬老大会開催の お知らせ

9月18日⑩午前10時から、神崎ふれあいプラザにおいて敬老大会を開催いたします。

この大会は、70歳以上の方々や人生の節目の年（百歳、米寿、喜寿）を迎えられた方をご招待し、祝賀式典を行います。

また、式典後にはお馴染みの佐原ウインドアンサンブルによる吹奏楽演奏、歌手「大門裕子」さんの歌謡ショーなど楽しんで頂ける催しを行います。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

○問合せ 保健福祉課福祉係 ☎⑦21603

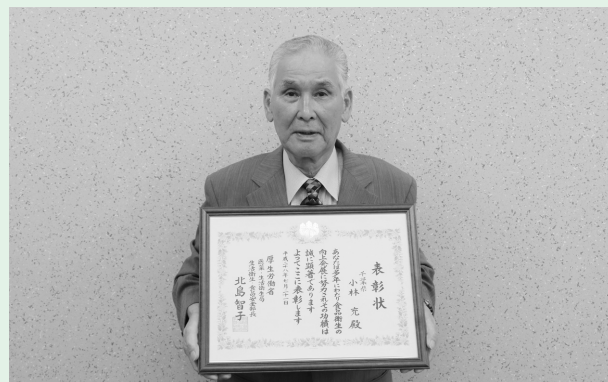


小林充氏が厚生労働省医療・ 生活衛生局 生活衛生・ 食品安全部門長表彰を受賞

小林菓子舗の小林充氏（神崎本宿）が、（公社）日本食品衛生協会より厚生労働省医療・生活衛生局 生活衛生・食品安全部門長表彰を受賞されました。

小林氏は「長年、食の安全・安心を守るため、食品衛生の推進・向上に邁進してきたことが認められ、とてもうれしく思います。なお一層、衛生管理に努めていきます。」と受賞の喜びを話されました。

この度は受賞おめでとうございます。



神崎町指定文化財 新たに「菩薩立像」と 「北の内古墳出土品一式」を指定

神崎神社所蔵の「菩薩立像」がこの度町指定文化財に指定されました。七観音まいりでおなじみの、この立像は像高47.5cm、木造の一木造であり、9世紀～10世紀に彫られたものとされています。特徴は頭部に飾られている「三面宝冠」であり、飛鳥時代から白鳳期に流行した装飾の一つです。現在、立像の一般公開はしていませんが、神崎ふれあいプラザ図書室において神崎神社の菩薩立像を取り上げた月刊誌を取り寄せてありますので、ぜひご覧ください。

また、平成14年度に発掘調査を行った「北の内古墳」（郡地区）からの出土品一式を町指定文化財に指定しました。出土品で特に注目されるのが「石枕」です。石枕は葬祭に用いられ、死者を安置する際の枕として使用されました。その他にも刀や斧、勾玉などの石製模造品も出土し、その数は5,000点を超えています。出土品はわくわく西の城に保管されており、一般展示に向けて準備中です。



菩薩立像（撮影 大屋孝雄氏）



北の内古墳 石枕